MOVTRA調査　チェックシート

日付:　　年　　月　　日

地点:

＜＜調査箇所選定時チェックシート＞＞	YES
●MOVTRAから道路中心までの水平距離（車線幅＋路側幅）が、3.00m～4.75mの範囲を超えない場所であるか？ ※4.75mを越えると精度低下します。	□
●路面は、アスファルト舗装である？ ※カラー舗装・コンクリート舗装・路面標示部（ゼブラマークや速度制限などのペイント）は避けること。	□
●信号付近や交差点付近など、定期的に滞留しない場所であるか？ ※時速5km/h以下の場合、速度計測、車種分類ができません。「未分類：0」としてデータ構築します。	□
●歩道をはさまない場所であるか？ ※歩道をはさむ設置は、歩道の通行者や自転車がカウントしてしまいます。	□
●雨天時に水たまりができるような箇所には設置しないこと。	□
●ゲートウェイユニットとメインセンサユニット間に金属遮蔽物がないような場所であるか？	□
●朝夕の日射が、センサ受光部に直接あたりにくい向きに設置可能であること。	□

＜＜設置時チェックシート＞＞	YES
●取扱説明書及び設置手順ビデオを見て、十分に作業内容を理解しましたか？	
●雨や雪が降っていないか？ ※降雪、雨天時の設置は、コネクタ部や蓋の中に水滴が入ってしまうため、晴天、曇天に作業すること。	□
●設置する構造物への養生はできたか？ ※養生テープやカーペット材を使用すること。	
●対向車線のセンサの影響を受けないように位置をずらして設置できたか？	□
●電池は新品または二次電池で満充電されたものだけを正しく挿入できたか？	□
●センサは、照準器を用いてセンターラインを狙って設置高さを調整したか？	□
●治具のネジは十分に締めたか？ ※必要以上に締めますと、ネジ穴が壊れたりしますので、ご注意下さい。	
●道路面に対して直行するように設置できたか？ ※向きが違うと車種判別、速度計測データに誤差が発生します。	□
●コネクタの接続部分を密着する防水テープで巻き、コネクタ内に水が浸入しないようにできたか？ ※コネクタの腐食は、サブセンサの動作不良の原因になります。（サブセンサへの電源供給、メインセンサユニットとの通信ができなくなる）	□

＜＜設置後チェックシート＞＞	YES
●メインセンサユニットの車両検知モニタで車両の検知が正しく行われているか？ ※車両検知しない場合は、電源、設置向き、高さ等の確認をしてください。	□
●ゲートウェイユニットのセンサユニットランプは常灯しているか？ ※常灯しない場合、メインセンサユニットから無線によりデータ通信できていないか、メインセンサユニットの電源が入っていない可能性があります。	□
●データ記録中のランプが約１分ごとに点灯するか？ ※車両検知しているにもかかわらず、点灯しない場合、メインセンサユニットとゲートウェイユニット間の通信ができていない可能性があります。	□
●稼働後、センサの前に立つようなことがなかったか？ ※センサユニットの前をふさいでいると、検知閾値が上昇し、しばらく車両検知ができない場合があるため、１～２分ほどセンサの前に何もない状態で計測すること。	□